

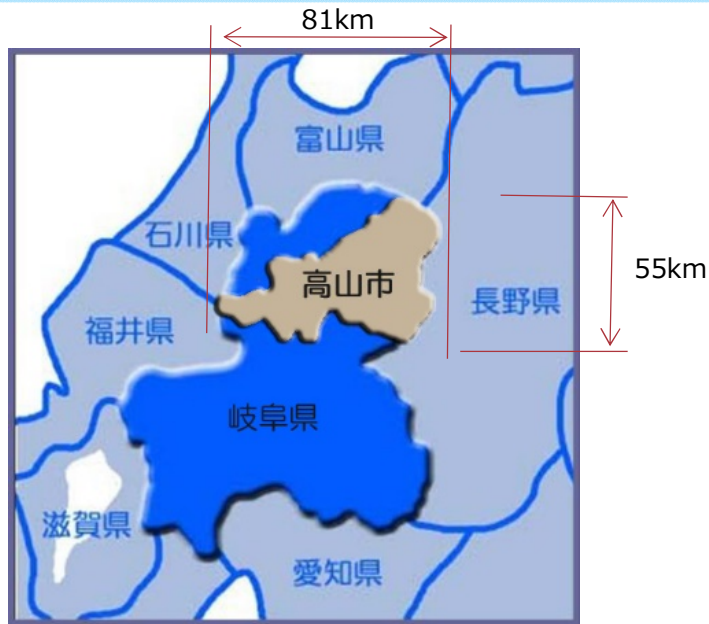
2050市全域ゼロカーボンの 実現を目指して

地域脱炭素フォーラム
2025 in 名古屋

岐阜県高山市



高山市の概要



面積 2,178km²
高低差 2,754m
森林率 92.1%
人口 81,810人 (R7.4.1)
高齢化率 33.9% (R7.4.1)

飛騨川水系から木曽川水系を通じて、名古屋市へも水を供給

- 自然や温泉資源
雄大な自然と豊富な温泉資源
2つの国立公園と5つの県立自然公園
- 歴史的文化資源
古い町並、春と秋の高山祭など
- 食文化
飛騨牛、高冷地野菜、日本酒など
- 伝統工芸品・飛騨の家具
飛騨の匠の技が生きる飛騨春慶、
一位一刀彫、飛騨の家具など
- 四季ごとの景観・多彩なイベント
四季の景色、様々なイベントを開催
- 再生可能エネルギーの拡大
急峻な地形を活かした小水力発電
奥飛騨温泉郷における地熱発電



さるぼぼ



飛騨牛



新穂高ロープウェイ



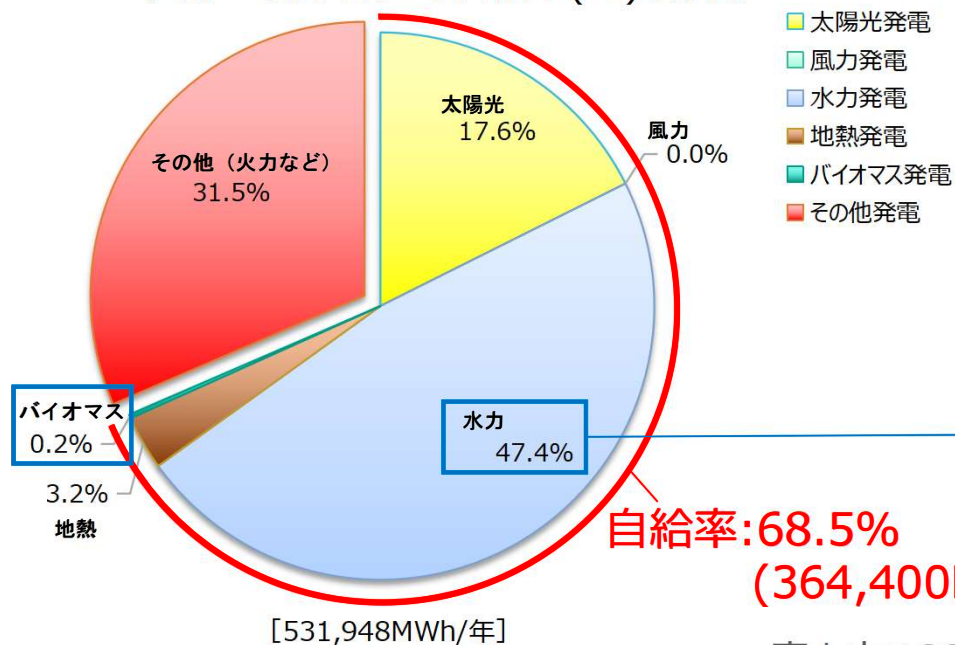
古い町並（上三之町）



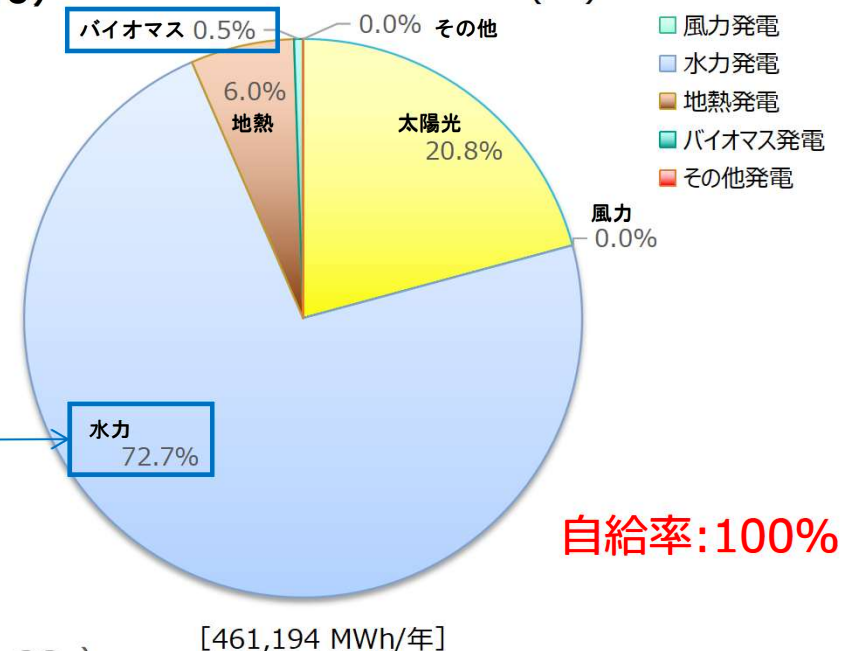
高山祭（秋の高山祭）

高山市の脱炭素の現状・目標(再エネ・二酸化炭素排出量削減)

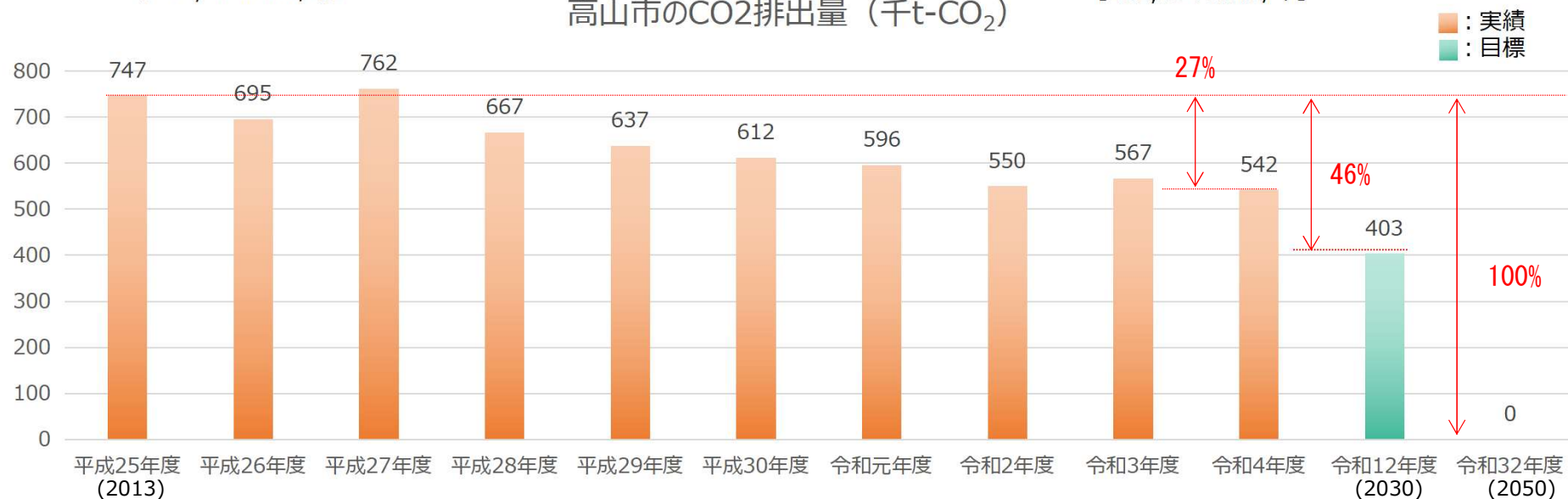
令和5年度の再エネ自給率(%)〔現状〕



(2030) 令和12年度の再エネ自給率(%)



高山市のCO2排出量 (千t-CO₂)



(出典：環境省 自治体排出量カルテ)

地球温暖化対策の取り組み

H22 高山市地球温暖化対策地域推進計画策定

H26 高山市新エネルギービジョン策定
～自然エネルギー利用日本一の環境都市を目指して～
高山市自然エネルギーによるまちづくり検討委員会設置

- H26 木質バイオマスの活用と
熱供給ビジネスのパイロット事業化決定
- H27 まちづくり検討委員会から市長（当時）へ
木質バイオマスの活用を提言
- H28 市の支援による間伐材収集運搬事業開始
- H29 木質バイオマス熱供給事業（桜香の湯）開始
木質バイオマス熱電併給事業（しぶきの湯）開始



SDGs未来都市 PR揭示

R3 SDGs未来都市（内閣府）選定
第二次高山市地球温暖化対策地域推進計画策定

「新エネルギービジョン」を包含。

R5 脱炭素先行地域（環境省）選定

R6 第四次高山市環境基本計画策定



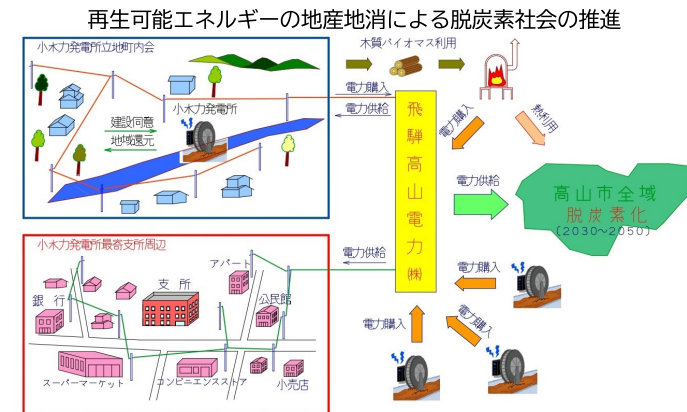
脱炭素先行地域選定記者会見

高山市環境基本計画〔1〕

令和7年3月策定

重点的な取り組み

脱炭素地域づくりの推進、再生可能エネルギーの導入と利用の促進

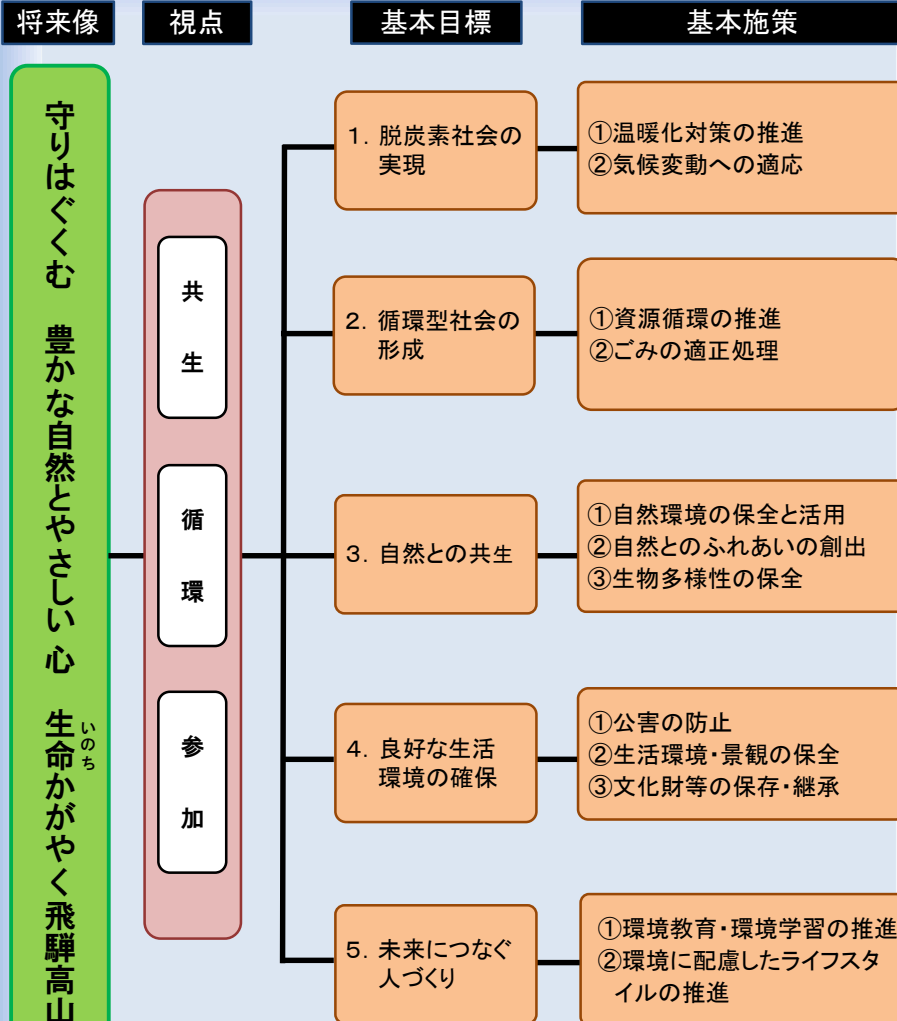


ごみ処理施設を活用したエネルギー循環、ごみ処理施設と周辺環境対策

国内トップクラスの環境性能を有するごみ処理施設の整備、余熱の発電利用



R8.3 竣工予定



高山市環境基本計画〔2〕

重点的な取り組み

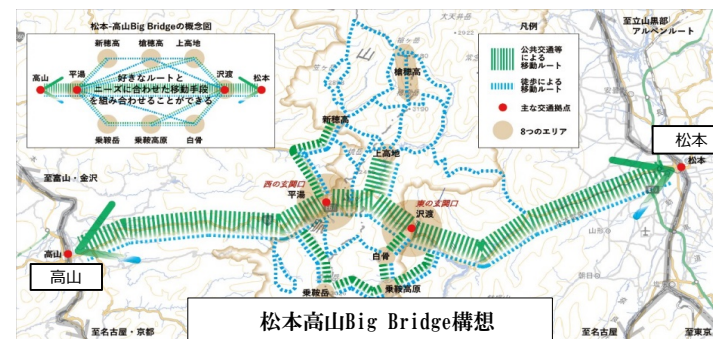
自然環境の保全（循環型林業の構築・多様な森林機能の発揮）

計画的な森林整備などによる100年先を見据えた森林づくり



自然公園等の保全と利用の推進

中部山岳国立公園など自然公園の魅力を活かした地域活性化



環境教育・環境学習の充実

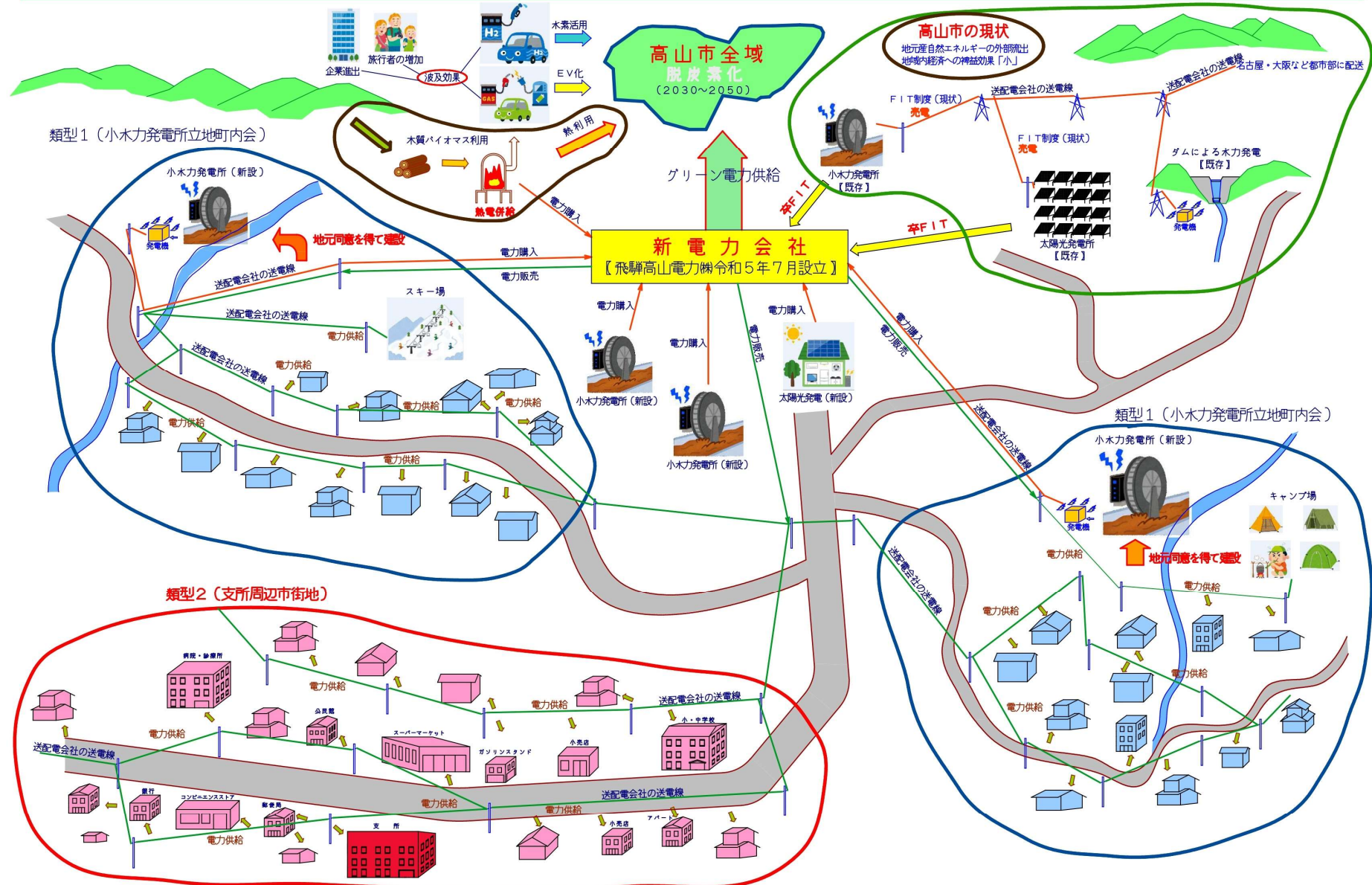
木育をはじめとする自然環境教育による意識の醸成



（乗鞍岳エコツーリズムの推進）

脱炭素先行地域事業

【高山市】脱炭素先行地域概念図



小水力発電所（新規10か所：既設5か所）

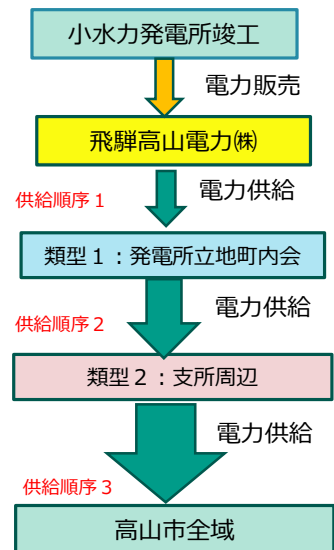
木質バイオマス熱電併給設備（新設3か所）

14町内会（約450世帯、100事業所、7公共施設）へ再エネ電力供給
（約 860万kWh/年）

旧町村役場（支所）

9支所周辺（約1,000世帯、300事業所、50公共施設）へ再エネ電力供給
（約1,500万kWh/年）

再エネ電力供給順序



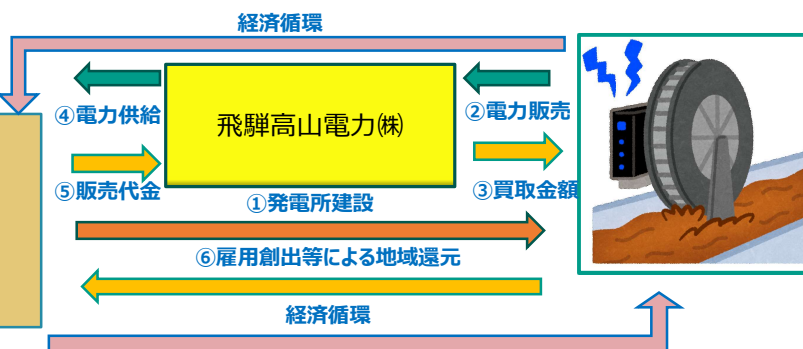
地域協働型の小水力発電所整備

【飛騨高山モデル】



地域住民
+ 民間事業

- ①合意
- ②維持管理
- ③共同出資
- ④役員就任



地域課題

- ①人口減少・少子高齢化
- ②地域経済の衰退
- ③後継者（担い手）不足
- ④住民活動の衰退
- ⑤伝統文化活動の衰退
- ⑥交流人口の減少
- ⑦農地、山地の荒廃
- ⑧インフラの管理不全
- ⑨地元愛の低下
- ⑩再生可能エネルギーの外部流出
- ⑪地域内資金の外部流出

整備後の地域

- ①居住人口の増
- ②移住人口の増
- ③若年人口の増
- ④経済活動活性化
- ⑤農林業の復興
- ⑥インフラ投資の増
- ⑦個人収入の増
- ⑧住民協働の活性化
- ⑨祭行事の実施
- ⑩住みよさの実感増
- ⑪脱炭素社会の推進

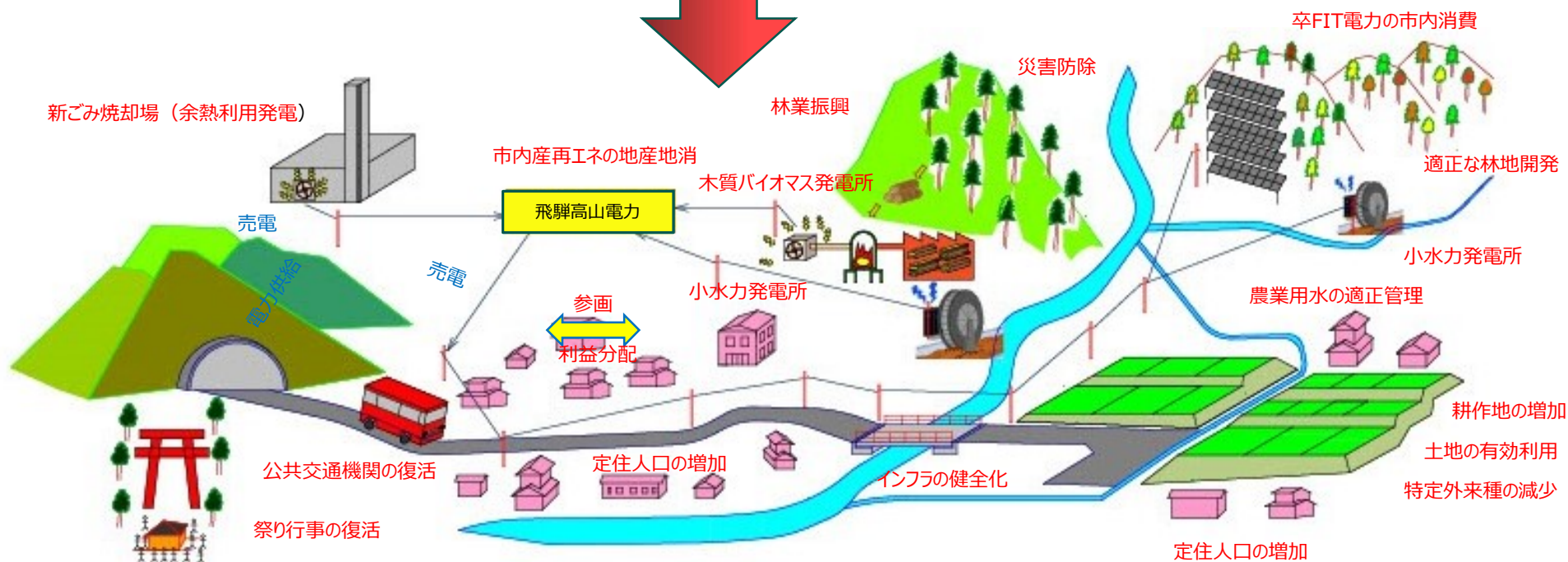
地域課題の解決

- ①人口減少・少子高齢化の緩和
- ②地域経済の復興
- ③後継者（担い手）確保
- ④住民活動の活性化
- ⑤伝統文化活動の継承
- ⑥交流人口の増加
- ⑦農地、山地の適正管理
- ⑧インフラの適正管理
- ⑨地元愛の向上
- ⑩再生可能エネルギーの地産地消
- ⑪地域内資金の内部循環

前



後



ご清聴ありがとうございました

